

福井県の子育て支援に関する提言書

私たちは探究活動で母乳バンクの存在を知り、小さく産まれた赤ちゃんがドナーミルクを利用する可能性を知識として知っておく必要があると考えた。また、福井県でお母さんが母乳を寄付するために必要となる対面問診と血液検査が実施できるドナー登録施設を設置することで、安定的なドナーミルクの供給に貢献できると考える。

そして、これからも私たちの世代が子育てを福井県で続けていくことが出来るように以下のことを提言する。

1 ドナーミルクの啓発活動の促進

母乳が適量でない場合、ドナーミルクを利用することは特に 1500g 未満の極出生低体重児が育つために必要である。妊娠後、母子手帳交付の際に、母乳バンクのリーフレット等を一緒に配布すること。また学生への啓発活動の際には我々が作成したパンフレットを配布すること。

2 ドナー登録施設を福井県内に設置

出産した母親が県内で母乳バンクドナー登録のための問診、血液検査ができれば、ドナー登録完了後は自宅で母乳を搾乳、冷凍保管し、冷凍便にて母乳バンクに送付が可能となる。福井県内の病院でこのようなドナー登録施設を整備するよう取り組むこと。

3 出産後、家族がゆっくりできる施設を設置

お母さんや家族が気持ちにゆとりをもって子育てができるよう、母子ケアが整い、福井県の自然豊かな環境で身体もこころもゆっくりとすることができる施設を整備する支援を行うこと。

4 こどもの遊び場の利用状況等を発信

当日のこどもの健康状態や天候等によって遊び場を選択することができるよう県内のこどもが遊べる場所の概要や利用状況が一目でわかるマップを作成し、ふく育あそび場検索サイトに掲載すること。

令和6年8月9日

福井県知事 杉本達治様

福井南高等学校

チーム もずく

村下実悠 渡辺もも

伊勢綾乃 内山里紗

木下心愛 谷口葵唯